

参加者  
募集中

# 茨城大学工学部 研究室訪問交流会

日時

2026年

10月28日(水) 13:00-18:00

本交流会は、茨城大学の教育研究の成果を地域の皆様に紹介し、産業界との連携を深めることを目的に開催します。当日は、工学部の教育研究や就職・インターンシップ状況の説明、学生による研究室紹介、懇親交流会等を行います。

大学と地域が協力し合い、相互に発展するきっかけとなるこの交流会に、ぜひご参加ください。

- ◆ 対象：法人・個人問わずどなたでもご参加いただけます。
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 実施方法：対面
- ◆ 会場：茨城大学日立キャンパス N4棟ほか  
(茨城県日立市中成沢町4-12-1) ※駐車場あり
- ◆ プログラム：裏面参照
- ◆ 参加申込：以下URLもしくはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/9hy1jG3rgp>

(申込〆切：2026年10月14日(水))

※URL・QRコードからお申し込みできない場合は、下記メールアドレスへお問い合わせください。

主催：茨城産業会議、茨城大学  
共催：茨城県産業技術イノベーション研究会  
問い合わせ：茨城大学研究推進部産学連携課

TEL：029-228-8826 E-mail：[sanren@ml.ibaraki.ac.jp](mailto:sanren@ml.ibaraki.ac.jp)



# 茨城大学工学部研究室訪問交流会 プログラム

## (1) 挨拶 13:00～13:10

茨城産業会議茨城県中小企業団体中央会 専務理事 矢部 英雄  
茨城大学研究・産学官連携機構 機構長 倉本 繁

## (2) 工学部の教育研究について 13:10～13:20

茨城大学工学部長 横木 裕宗

## (3) 工学部の就職・インターンシップ状況について 13:20～13:30

茨城大学工学部キャリア支援室コーディネーター 見田 洋子

## (4) 工学部附属教育研究センター公開研究室の見学内容の説明 13:30～14:30

### 休憩 14:30～14:40

## (5) 茨城県産業技術イノベーションセンター研究成果の紹介 14:40～14:50

茨城県産業技術イノベーションセンター 技術支援部長 若生 進一

## (6) 茨城大学の産学官連携活動状況の紹介 14:50～15:00

茨城大学研究・産学官連携機構 産学官連携コーディネーター 保苅 和男

## (7) 研究室公開・見学方法の案内 15:00～15:15

## (8) 茨城大学工学部附属教育研究センター研究室公開 15:15～16:50

1つの研究室で約25分間の同内容の説明を3回行いますので、参加申込時に、以下6つの研究室から見学を希望する研究室を3つお選びください。(1回目：15:15～15:40、2回目：15:50～16:15、3回目：16:25～16:50)

## (9) 懇親交流会（アルコールなし） 17:00～18:00

### 懇親交流会にて

公開研究室以外の  
研究室についても  
学生のポスター  
発表あり

### (1) ライフサポート科学教育研究センター 北山研究室 北山 文矢

磁力を使って力を伝達する磁気式波動歯車、磁気式波動歯車を搭載した軽量の脚支援システム、磁力で3自由度に駆動する球面モータを紹介します。脚支援システム装着風景の実演、球面モータ試作機の実物展示をする予定です。

### (2) 材料加工科学教育研究センター レーザプロセッシング研究室 山崎 和彦

レーザ加工技術は、樹脂材料や金属材料の穴あけや切断、焼結など様々な分野に利用されています。本研究室では、レーザプロセスを利用した異種材料のレーザ接合技術や、微粒子をレーザ焼結させる局所膜形成技術の開発などに取組んでいます。レーザ装置や評価装置を見学いただき、サンプルやパネル等を用いて研究内容について紹介します。

### (3) グリーンデバイス教育研究センター エネルギー構造科学研究室 井上 大

熱電変換材料をはじめとしたエネルギー変換材料について、性能向上とそのメカニズム解明について取り組んでいます。当日は手のひらの温度差から発生する熱起電力測定のデモを行います。

### (4) 都市・地域デザイン教育研究センター 国土空間情報研究室 桑原 祐史

衛星、ドローン、簡易センサにより取得された様々な地理空間情報を使用し、河川内水氾濫や河川と内陸部の緑地変遷の分析に関する研究を行っています。見学ではこれらのシミュレーション結果をご覧いただきたいと思います。

### (5) AI・ICT次世代広域応用教育研究センター 米山研究室 米山 一樹

インターネットを介したWebサーバアクセスで利用されているTLSを始めとして、現代の通信インフラは様々なセキュリティプロトコルによって守られています。しかし、攻撃手段・領域の多様化によって、設計時に想定した安全性が破られる恐れがありますが、人手でそのような欠陥を見つけるのは容易ではありません。当研究室では、ソフトウェアの設計に対する実装の正しさを検証する形式手法を応用して、セキュリティプロトコルの安全性自動検証を研究しています。安全性自動検証の仕組みの概要と研究室で検証を行ったいくつかのケーススタディについて紹介します。

### (6) 次世代モビリティ教育研究センター 次世代無線×AI研究室 王 瀟岩

自動運転の実現に欠かせない技術の一つが自動車レーダです。近年、レーダ搭載車両の増加に伴い、車両間で発生するレーダ干渉が大きな課題となっています。人工知能(AI)を活用した新しい自動車レーダ間干渉抑圧技術を紹介します。